

2026年10月19日

報道関係各位

株式会社JPF

10月12日松阪けいりん ATHLETE DISCOVERYを開催

～体力測定を通じて、子どもたちの強みと新たな可能性を発見！～

三重県松阪市から松阪競輪場の包括運營業務を受託している株式会社JPF(本社:東京都千代田区、代表取締役:渡辺俊太郎)は、2026年10月12日(月・祝)に松阪競輪場で「松阪けいりんATHLETE DISCOVERY」(主催:松阪市)を開催いたしました。



当日は、小学6年生から高校1年生までが参加。松阪競輪場のトレーニングセンターとバンクを活用し、スポーツ庁が公表する新体力テストを実施しました。握力や立ち幅跳び、反復横跳び、50m走、持久走などの基礎体力測定に加え、日本競輪選手養成所の適性試験でも採用されている垂直跳びや、ワットバイクによる6秒間のピークパワー測定も行いました。競輪場の施設・設備を生かして筋力、瞬発力、敏捷性、持久力を多角的に測定し、参加者が自分自身の強みや可能性を知る機会となりました。測定後には、参加者にAPS(アスリートパスウェイシステム)※を紹介しました。測定結果を登録し、年齢・性別ごとの基準値と比較することで、自身の強みや課題を把握し、今後の競技選択の参考にできることを説明しました。

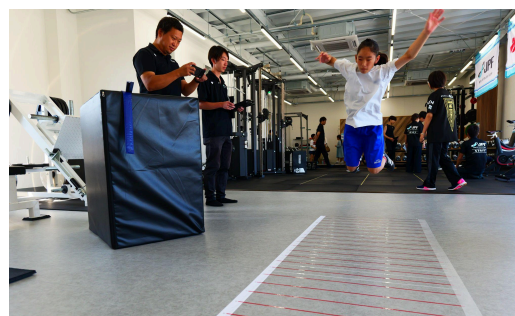
※APS(アスリートパスウェイシステム)

独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)が提供するシステムです。体力測定結果や活動記録を蓄積し、同年代の測定値との比較などを通じて、自身の能力や課題の把握、競技適性の発見などに活用できます。

詳細:APS公式サイトhttps://pathway.jpnsport.go.jp/aps/?utm_source=chatgpt.com



ワットバイクで6秒ピークパワーを測定



立ち幅跳びを測定



日本競輪選手養成所の適性試験科目でもある垂直跳び



瞬発種目の50m走を測定



バンクの走路を活用した持久走測定



測定後にAPSの説明を受ける

【競輪場を、地域スポーツを支える拠点へ】

本イベントの特徴は、競輪場が持つ施設・設備と、JPFが取り組む自転車競技の普及・育成を結びつけていることです。松阪競輪場では、ユースアカデミーなど、自転車競技を始めるきっかけとなるプログラムを展開しており、測定を通じて興味を持った参加者が、実際に競技に挑戦できる環境が整っています。

競輪場運営とスポーツ振興の両方に携わるJPFが、地域の子どもたちと競技の現場をつなぎ、測定で見つけた可能性を、次の挑戦と継続的な成長へとつなげていきます。

JPFは、地域でスポーツに出会い、自分の可能性を知り、継続的な活動を通じて成長できる環境づくりを進めています。

【イベント概要】

イベント名	: 松阪けいりんATHLETE DISCOVERY
開催日	: 2026年10月12日(月・祝)
会場	: 松阪競輪場
主催	: 松阪市
後援	: 松阪市教育委員会
企画・運営	: 株式会社JPF

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

https://drive.google.com/drive/folders/1hraG7qVXaE5CLoQurJiUYNkhs7zczTtr?usp=drive_link



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF

松阪事業所(担当:山田、米永)

TEL:0598-23-6111